

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和7年7月24日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都府乙訓郡大山崎町大山崎小泉1番地	マクセル株式会社 代表取締役 取締役社長 中村 啓次 電話番号：075-956-4141

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	マクセル（株）京都事業所ほか10箇所
導入年月日	1997年 12月 24日
認証番号	EC97J1148
基本方針	マクセルグループは、イノベーションの追求を通じて地球環境の保全に努め、誰もが安心して暮らせる持続可能な社会の実現に貢献します。そのために以下の項目を掲げています。1. 地球環境の保護、2. 法令遵守、3. 環境に配慮した製品とサービスの提供、4. 従業員への教育や意識向上
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	・脱炭素社会の達成に向けた取り組み エネルギー起源のCO2排出量を削減する（2013年度比CO2排出量50%以上削減） ・循環型社会の達成に向けた取り組み 廃棄物生産高原単位0.0450（トン/百万円）2021年度比（19%削減）。 複合プラスチック廃棄物のケミカル、マテリアルリサイクル開始。
目標を達成するための取組の内容	【CO2排出量の削減】 変圧器更新により電力損失削減、空調機更新により電力削減、照明のLED化による電力削減、及び機器の適正な運転管理。 【廃棄物等の排出量削減】 仕損・ムダの低減による歩留まり向上、分別による再資源化の徹底 又、環境一般教育を通して従業員の分別意識向上、周知徹底を図っております。
目標を達成するための取組の進捗状況	【CO2排出量の削減】 現状にあった変圧器の設備容量と台数に変電所毎で計画的に更新中。 PAC空調をエリア毎で計画的に更新中。各機器の台数制御運転により、適性なエネルギー供給を実施している。 【廃棄物等の排出量削減】 仕損・ムダの低減による歩留まり向上、分別による再資源化を実施中 又、環境一般教育を通して従業員の分別意識向上、周知徹底を継続中する。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	CO2排出量については当初計画どおりに取り組むことができている。 廃棄物の一部製品の生産終了に伴う設備撤去が理由で、数字が悪化。 2030年度目標達成に向け、25年度、26年度の削減目標を引き上げ、取り組みを行う。
事業活動に係る法令の遵守の状況	遵法状況は6ヶ月に1度確認している。令和7年4月に確認時に、建設リサイクル法届出漏れが判明したため、直ぐに事後届け出を行い行政受理済み。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年に1回マネジメントレビューを実施しています。また、令和6年度の目標は概ね達成し成果が見られたことから、令和7年度も同一のシステムにより運用開始しています。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。